

法遍寺 から大切な 皆様へ

2023年6月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏躍動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

僧俗一致・異体同心の
団結

年間実践テーマ

① 勤行・唱題の徹底で活動
の充実

自分自身が日々納得
のできる勤行・唱題を

② 破邪顕正の折伏で誓願
達成

御聖意を拝し、身軽法重
死身弘法の決意に立つ

③ 寺院参詣と登山推進で
人材育成

『金沢の抜け参り』のお
姿を忘れず寺院参詣・
御登山の推進を強化

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(電話番号：0561-54-9226)

相談無料 <https://hohenji.net/>



2023年5月28日 慶祝記念総登山の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ「我が仏性をよび顕す口唱の題目」

誰もが元々もっている仏の命を仏性という。これは花を咲かせていない時の桜の木と一緒に、見えはしないが全ての生き物に内在している。このことを仏様は「正因(しょういん)仏性」と名づけた。その仏性の姿は大聖人によって「御本尊」として顕わされた。大聖人は「口に妙法をよびたてまつれば、我が身の仏性もよばれて必ず顕われる。同時に梵王・帝釈の仏性もよばれて我等を守る。仏菩薩の仏性はよばれて悦ばれる」(御書1321 趣意)と仰せになった。御本尊に合掌してなす勤行や唱題は、自身の仏性をよび顕すだけでなく、諸天の仏性もよばれて我らを守り、仏菩薩の仏性は歓喜して功德を与え示し、幸福の中に包んでくださるのである。常に我慢偏執の心なく、仏様から悦ばれる尊いお題目を唱えさせて頂くのではないか。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その34)

平成3年に入り、創価学会は宗門批判の大キャンペーンを継続しながら、学会員を寺院・僧侶から離反させる活動を進めた。この状況を踏まえ宗門は、創価学会が宗教法人を取得したときの三原則、「①折伏した人は信徒として各寺院に所属させること。②当山の教義を守ること。③(末法下種の)三宝を守ること」を踏みにじり、日蓮正宗信徒団体としての資格を喪失し、三宝破壊の謗法団体と墮してしまつたと判断せざるをえず、平成3年11月7日、創価学会に対して「解散勧告書」を送達した。これを受け創価学会は、激昂するごとくかえって反発をし、猥下・宗門に対し誹謗中傷を重ねていった。宗門はこれを放置するわけにいかず、万やむを得ず11月28日、創価学会に対して「破門通告書」を送達したのであった。(次回 解散勧告書の内容 他)

③ 正しい仏教への信仰を知らない方へ(方便の意味と仏の慈悲)

「嘘も方便」という言葉は誰もが知っている。一般的には方便とは、目的を達成するために用いる方法や便宜という認識である。しかし、その由来は仏教にあり、仏や菩薩が衆生を救済するために用いる巧みな手段のことである。仏は我々衆生の心にある「欲」をすべて見抜いている。その欲に合わせて誘引し、仏の本当の心(真理)を説く法華経に至るまでの間、方便をもって導いたのである。仏の目指すところは、生命の奥に潜む「苦」の救済である。正しい信仰は、世界中の人々を絶対の幸福なる即身成仏の境界に導く。一時の気休めや現実からの逃避ではなく、苦悩を喜びに変え、難事を乗り越え、生死の苦を涅槃へ、忍土を寂光の楽土に転換するのである。仏の真実の慈悲は、ここ日蓮正宗にある。ともに人生の境界を開いていこう。